

第6学年 国語科学習指導案

単元名 人物の生き方を考えよう

教材名 「海のいのち」 立松 和平 作（東京書籍 小学校6年下）

1 単元について

(1) 児童観

児童は、「海のいのち」の学習を行うまでに、4月に「風切るつばさ」、7月に「ヒロシマのうた」と二つの物語文を学習している。「風切るつばさ」では、主な登場人物について、文中の言葉を基に心情を考える活動を行っている。「ヒロシマのうた」では、ある人物に絞って心情を考えたり、最後の一文に込められた意味を考えたりすることで主題に迫る学習活動を行った。

本単元にかかわる言語活動の経験としては、10月に学習する伝記「宮沢賢治」の発展学習において、宮沢賢治の作品を読み、ポスターにまとめることを行った。その際、物語が強く語りかけていることを一言で書き表したり、作者の思いや理想を短い一文で書き表したりする活動を行ってきた。また、11月には「『わたしの意見』を書こう」の単元において、意見文を構成メモを利用して書き、自分の考えをはっきりさせる構成の工夫や意見の理由や根拠の示し方を学習している。さらに、「百年前の未来予測」の学習ではパネルディスカッションを行い、自分の考えが伝わるような話し方の工夫や自他の予測の内容や考えを比べながら聞き、それを踏まえて自分の考えを話す活動を経験している。

(2) 教材観

本単元は、作品から読み取ったことを基にして自分の考えをもち、選んだ発表方法でその考えを紹介し合い、自他の感じ方の違いに気付きながら自分の読みを深めていくことをねらいとしている。これは、学習指導要領（平成20年3月）第5学年及び第6学年「A話すこと・聞くこと」（2）アの「資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする」に対応する言語活動にあたる。

教材文の「海のいのち」は、主人公「太一」が海に生きる「おとう」や「与吉じいさ」等とのかかわりを通して成長していく姿を描いた物語であり、自然への畏敬の念や命の連鎖を読み手に感じさせる作品である。会話文や情景描写などを基に主題や意図を考えさせるのに適している。直接的に心情を描写した叙述は少なく、会話文や動作の描写、情景描写などを基に心情を読み取らせていくので、会話文・情景の比較や直喩・暗喩、色を表す言葉など今までに身に付けた読みの力を十分に活用して読み進めていく必要がある。

他の登場人物とのかかわりを通して、人としてたくましく成長していく主人公の姿や作品にちりばめられた特徴的な表現は、児童が根拠を基に自分の考えをもちたり、友達の考えを聞き、自分の読みを深めたりするのに適した教材である。

(3) 指導観

本単元では、特に以下の点に留意して指導を展開する。

学習課題と学習の見通しをもたせる手立てを行う

単元の導入では単元のねらいを確認するとともに、教科書83ページ[てびき]の「学習方

法を選ぼう」から読み取り後の言語活動である表現方法を選択させ、学習課題を意識させるようにする。さらに、第2時において、単元計画を立てさせ、学習課題を解決するための読み取りのねらいを考えさせることで、学習の見通しをもたせ、主体的に学習していくことができるようにする。

習得と活用を図る学習内容を明らかにする

本単元では、今まで身につけてきた学習用語や学習方法などを活用して、学習を進めていかせるようにする。人物像を読み取る活動では、会話文や情景の比較や直喩・暗喩、色を表す言葉に着目する読み方を活用して読み取らせていきたい。また、場面の組み立てや構成の特徴などに目を向けさせながら、物語の仕掛けやクライマックス部分の表現を読み取らせるようにする。主題を探っていく活動では、題名やキーセンテンスを基に考えさせていく。最初の一文や会話文、クライマックス部分の表現などのキーセンテンスを選び、根拠を基に考えさせたい。

自己評価活動を取り入れる

自己評価活動を毎時間取り入れることで、自分自身の基礎的・基本的な知識・技能の習得の度合いや既習事項の活用の度合いを気付かせる。また、自己評価活動を通して達成感や新たな課題意識をもたせることで、学習に対する意欲を喚起したい。

関連図書を設置する

立松和平の他の作品を本単元開始の2週間ほど前から学級文庫として設置し、数多くの作品に触れる機会をつくるようにする。また、朝の時間などに数冊の冒頭部分を読み聞かせることで、立松和平の他の作品に興味をもたせるようにしたい。同じ作者の作品に触れさせることで、作品の根底に流れる作者の思いを踏まえ、「海のいのち」に対する作者の思いを、自分の経験だけでなく、作者の思い、他の作品とのかかわりなどさまざまな視点でとらえさせることにつなげていきたいと考える。

2 単元の目標

物語を読んで、登場人物の生き方を中心に感想をまとめることができる。

選んだ表現方法で、最も強く語りかけてきたことを紹介し合うことができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	1 選んだ表現方法に向けて、発表の準備をしたり、友達の意見に興味をもって聞いたりしている。
イ 話す・聞く能力	1 説明を、根拠を明確にして話している。 【A話すこと・聞くこと(1)ア, イ】 2 相手の考えを自分の考えと比べながら聞いている。 【A話すこと・聞くこと(1)エ】
ウ 読む能力	1 登場人物の心情や場面、登場人物の相互関係について叙述を基に読み取り、物語の主題や優れた叙述について自分の考えをまとめている。 【C読むこと(1)エ】 2 「海のいのち」を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【C読むこと(1)オ】

<p>エ 言語についての知識・理解・技能</p>	<p>1 場面の様子や優れた心情表現，象徴表現などに着目し，言葉の使い方について理解することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(カ)】</p>
--------------------------	---

4 指導と評価の計画（全11時間）

本プランでは，伝記「宮沢賢治」の学習での経験を生かして，ポスター・セッションを選択しています。学級の状況に合わせて，「読書会」「『語り』発表会」を選択してもいいと思います。

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	表現方法を決定し，学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・題名や教科書71ページの挿絵・文章から，物語を簡単に想像させる。 ・学習方法は，P83の[てびき]を参考にさせ，今までの学習計画が生かせるポスター・セッションを選ぶことを確認する。 ・ポスター・セッションのやり方やねらいについて例を挙げながら説明する。 	<p>ア 1 単元のねらいや[てびき]を基にして，単元の見通しをもとうとしている。 〔表現方法についての発言やワークシートの記述内容〕</p>
	2	全文を読み，課題解決のための学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を通読し，登場人物や文章構成について確認する。 ・場面分けをさせ，起承転結の構成に整理させる。その4つの構成部分で読み取る事柄のめあてを考えさせ，ポスター・セッションを表現方法とした単元の計画を立てさせる。 	<p>ア 1 登場人物，文章構成を基にして，ポスター・セッションまでの学習計画を立てている。 〔発言や様子及びワークシートの記述内容〕</p>
二	3	「起」の部分（冒頭からおとうの死までの場面）を読み，太一とおとうの人物像を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・人物像を読み取ることができる叙述に着目させながら，それぞれの人物像について想像させる。 	<p>ウ 1 ,エ 1 太一の人物設定やおとうの人物像を読み取り，「起」の部分の物語における役割を考えている。 〔ワークシートの記述内容〕</p>
	4	「承」の部分（与吉じいさに学ぶ場面）を読み，与吉じいさの生き方や考え方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・与吉じいさの行動や会話文に着目させて，生き方や漁師としての考え方について考えさせる。 	<p>ウ 1 ,エ 1 与吉じいさの人物像や生き方を，叙述から読み取っている。 〔ワークシートの記述内容〕</p>

三	5	<p>「転」の部分（クエとの出会いの場面）を読み，太一の心が変化するクライマックスの一文を見付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母の思いが明らかになる場面から太一の思いを想像させ，その思いが変化していることに気付かせる。 ・太一の思いが変化する心の転換点を見付けさせて，その理由について話し合わせる。 	<p>ウ 1 ,エ 1 物語の構成における「転」の部分から，太一の心情の変化を読み取り，クライマックス部分をとらえている。 〔話し合いの様子及びワークシートの記述内容〕</p>
	6 (本時)	<p>「結」の部分（その後の太一の生涯の場面）を読み，他の登場人物の役割を振り返る。</p> <p>これまでの学習を振り返り，物語の主題を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成長した太一の姿から他の登場人物の役割を考えさせる。 ・本文から大切だと思う言葉や文をいくつか選ばせ，それを基に「海のいのち」の主題を考えさせる。 	<p>ウ 1 ,エ 1 登場人物の言動と太一の成長の姿をつながけながら読み取っている。 〔ワークシートの記述内容及び発言〕</p> <p>ウ 2 「海のいのち」の主題について，自分なりに根拠をもって考えている。 〔ワークシートの記述内容〕</p>
	7 8 9 10	<p>物語が自分に強く語りかけてきたことや人物の生き方・考え方に対する自分の感想をまとめ，ポスターを作成する。</p> <p>ポスター・セッションに向けて，発表する練習を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主題，あらすじ，最も大切だと思う一文，人物の生き方や考え方に対する自分の感想を考えさせ，字数や目的に合わせてまとめさせる。 ・ポスターのレイアウトを考えさせ，ポスターを完成させる。 ・ポスター・セッションでの説明の手順や工夫を確認し，発表の練習を各自行わせる。 	<p>ウ 1 物語の人物の生き方や考え方に自分なりの感想をもち，主題やあらすじなどをまとめて，ポスターを作成している。 〔ワークシートの記述内容〕</p>
11	<p>ポスター・セッションを行い，友達と自分の感じ方の違いに注意して感想を交流する。</p> <p>単元の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き役には聞き取りメモを取らせ，自他の感じ方の違いに注意して聞かせるようにする。 ・これまでの学習を振り返らせ，自分が身に付けた事柄やこれからの課題について気付かせる。 	<p>イ 1 発表する内容を根拠や理由を明確にして，説明している。 〔発表の様子〕</p> <p>イ 2 友達の発表を自他の感じ方の違いに着目して聞いている。 〔交流の様子及びワークシートの記述内容〕</p>	

5 本時の計画 (6 / 11)

(1) 目標

「結」の部分を読み、他の登場人物の存在が太一の成長に大きくかかわっていることをとらえることができる。

「海のいのち」の主題を考えることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 本時の見通しをもつ。</p> <p>(1) めあてを確認する。</p> <div data-bbox="277 629 1289 719" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>太一の成長した姿から登場人物の役割と、「海のいのち」の主題を考えよう。</p> </div> <p>(2) 学習の見通しをもつ。</p>	<p>学習計画を確認させて、本時のめあてを確認させる。</p> <p>「主題」とは何か、クイズを出して用語の意味を確認する。</p> <p>学習の見通しをもたせるために以下の活動を確認する。</p> <p>「結」の部分から太一の成長を読み取る。 太一の成長と他の登場人物の役割を考える。 「海のいのち」の主題を自分なりに考える。</p>
<p>2 「結」の部分 (87ページ4行目 ~ 最後) を読み、太一の成長と他の登場人物の役割を考える。</p> <p>(1) 「結」の部分を読み、太一の成長を読み取る。</p> <p>(2) 太一の成長と他の登場人物 (おとう、与吉いさ、母) の役割を考える。</p>	<p>太一の成長した姿や家族、漁師としての考え方に着目しながら読ませるようにする。</p> <p>太一の成長した姿や漁師としての考え方について発表させ、これまでの他の登場人物の生き方や考え方、漁師としての考え方と比べさせる。</p> <p>主人公の変容に対し、それぞれの登場人物の役割があることに気付かせるようにする。</p> <div data-bbox="699 1608 1369 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】 太一の成長と他の登場人物の言動をつながりながら読んでいる。〔学習中の発言及びワークシートの記述内容〕</p> </div>
<p>3 主題を考える。</p> <p>(1) 自分なりに大事だと思う文を選ぶ。</p>	<p>「海のいのち」を読んで、作品が訴えかけてきたことを短い言葉で考えさせる。その際には、文章中のキーワードやキーセンテンスを基に考えさせるようにする。</p>

<p>(2) 選んだ文を根拠に，主題を考える。</p> <p>(3) 考えた主題をグループで交流する。</p>	<p>物語全体や選んだ言葉や文から感じたことを，キーワードやキーセンテンスを基にして短い文にまとめさせる。</p> <p>自分の考えた主題と，その根拠になった言葉や文，そう考えた理由を少人数のグループの中で紹介させる。聞くときは，発言者の説明のよさや自分の考えと違うところ，同じところに気を付けて聞くようにさせる。</p> <p>全員の発表が終了したら，簡単に感想を交流させる。</p> <div data-bbox="695 712 1372 851" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】 「海のいのち」の主題について，自分なりに根拠をもって考えている。〔学習中の発言及びワークシートの記述〕</p> </div>
<p>4 学習を振り返り，自己評価をする。</p>	<p>本時のめあてに対する自己評価をさせる。</p> <p>次時よりポスター・セッションの準備に取り掛かることを確認する。</p>